

F

舞岡里山コース

1 舞岡八幡宮

この辺りに源氏の印である白旗が舞った。村人はめでたいことと喜び地名を舞岡と改め、石清水八幡宮を勧請して乾元元年(1302年)八幡宮を開いた、と伝える。毎年4月15日の例祭で、湯花神楽という神事を行う。



2 舞岡ふるさと村虹の家

横浜市より地域指定を受けた「舞岡ふるさと村」の総合案内所。館内は横浜市の支援を得てふるさと村の自然や農業の紹介を行うと共に、年間を通して体験教室の開催、自然観察会の実施、研修、料理教室等の利用貸出を行っている。(開館時間) 9:00~17:00 (休館日) 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日休) 12月29日~1月3日



3 舞岡町小川アメニティ

地下鉄舞岡駅から舞岡公園に至る水辺空間。水量豊富な水の流れに沿って歩くと、心まで洗われる。梅雨時のアジサイがきれい。



4 舞岡公園

市指定の「緑の七大拠点」の一つである舞岡野庭地区の中心部にある。周辺の市街化が進む中で昔ながらの雑木林や田園の風景が残されている谷戸の公園。



5 舞岡公園小谷戸の里

古民家は市認定歴史的建造物。裏庭の季節の花々は訪れる人々に安らぎを与えている。縁側や室内で一時的休憩も出来る。毎年11月23日の収穫祭では、ぼた餅・焼き餅・豚汁・甘酒等が格安で振るまわれる。



(開館時間) 9:00~17:00
(休館日) 第1・第3月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休) 12月29日~1月3日

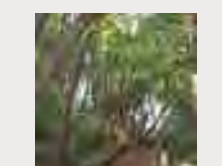
6 瓜久保

入口に火の見櫓が建つ。体験教室の田んぼ、傍らに相撲を取っている河童の像がある瓜久保池、春には梅が美しい小広場がある。小鳥のさえずりも楽しめる。



7 森の中の散策路

春の新緑、夏の木立を吹き抜ける風、秋の紅葉、葉を落とした冬の木々に自然を感じることが出来る身近な森。舞岡川の源流はこの森の中。



道案内

地下鉄舞岡駅で下車、1番出口から地上へ。「ハム工房まいおか・舞岡や」の前を小川アメニティ沿いに進むと右に**1 舞岡八幡宮**。八幡宮から約170mで左手に**2 舞岡ふるさと村虹の家**。**3 舞岡町小川アメニティ**を進み、石畳が詰まったところで道路を渡り、そのまま遊歩道に入る。小川沿いをしばらく進むと右にさくらなみ池のある**4 舞岡公園**。池の先の左にある階段を上ると「ぼらの丸の丘」。なだらかな坂を上ると「もみじ広場」。もみじ休憩所の左の道を下ると分かれ道にでる。黒いフェンス沿いに直進し、急坂を下ると左前方に喫茶店「あとりえ」。T字路を左折し約10m、右の薬師堂入口の階段を上ると旧東光寺薬師堂。薬師堂手前の階段を上ると広場。右に「老人憩いの家」の平屋建てがある。その前を進むと舗装された緩い上り坂。左は南舞岡小学校の校舎。校舎裏門の右斜めに馬頭観音が小さな木の下にある(馬頭観音を説明する木札が置かれている)。バス通りに出たら右折。

約200m先の歩道橋の下を通り、20m行くと車道と右に別れる道に出る。右の道を50m程歩くと公園案内図があるが、そこからは入らずに公衆トイレの先にある案内標識(小谷戸の里・瓜久保)に従って南門から入る。

緩やかな坂を下り、道なりに約400m行くと左に**5 舞岡公園小谷戸の里**。約600m歩くと火の見櫓のある**6 瓜久保**の入口。カッパ池に沿って進み「カッパの像」の向かい側の標識(至三枚畑の森)に従って階段を上り、尾根道を右折。右側にある階段を上ると、途中、右手に案内標識(舞岡公園)があるが、曲がらずに直進する。**7 森の中の散策路**を抜け、突き当たりを左折し下る。比較的広いアスファルト道を右に進み、前方左にある階段(階段手前に案内看板がある)を上る。四阿(あずまや)を過ぎ、しばらくすると森の中の散策路は終わる。舞岡駅の標識に従い坂を下り、左が畑のアスファルト道を進み右折して小川沿いに約200m歩き、最初の左の道に入り、バス通りを右折、約130mで市営地下鉄舞岡駅。



● 農産物直売所 ● 富士見スポット ● CV コンビニエンスストア ● よこはまウォーキングポイントリーダー設置場所